



EM-225

EMERSON

# エマーソン ワイド・ロージャッキ

## 取扱説明書

この度は「エマーソン ワイド・ロージャッキ」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終わってもこの取扱説明書を大切に保管の上、必要な都度お読み返し下さい。

本製品は、おおむね車両重量2t未満のお車で使用することが出来ます。



仕様	
品番	EM-225
商品名	エマーソン ワイド・ロージャッキ
最低位	80mm(アダプター使用時105mm)
最高位	380mm(アダプター使用時405mm)
最大使用荷重	14.7kN
最大揚程質量	1.5t(※車両重量ではありません)
本体重量	11.8Kg
本体サイズ	幅210×高さ160×長さ565mm
ハンドル重量	0.8kg
ソケットサイズ	19mm/21mm
アダプターサイズ	幅60×高さ47mm(支持部35mm)
アダプター重量	0.8kg

注意  
※ご使用の際は必ずお車の車高をご確認下さい。  
また、バンパーの形状によっては干渉する  
恐れがありますのでご注意下さい。  
※一部車種によりジャッキの最高位に達しても  
タイヤが浮かない場合があります。  
※改良のため、予告なく仕様及び外観の変更を  
する事があります。

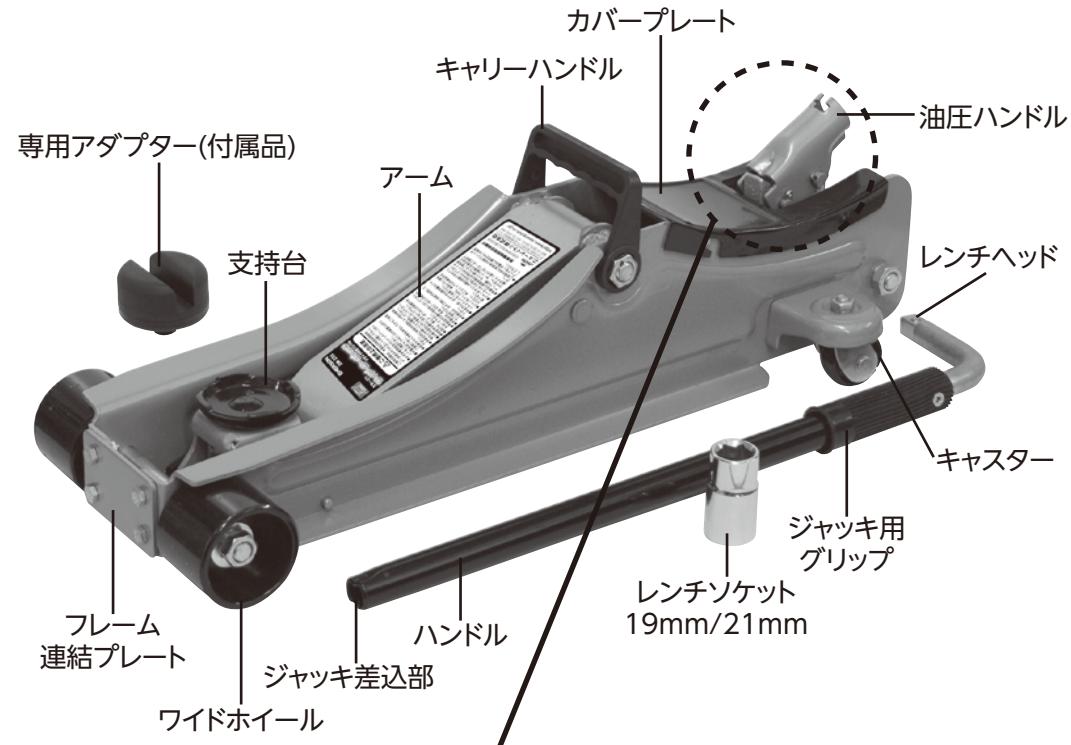


4 975960 116411  
この製品は日本国内で企画・設計し中国で生産しています。

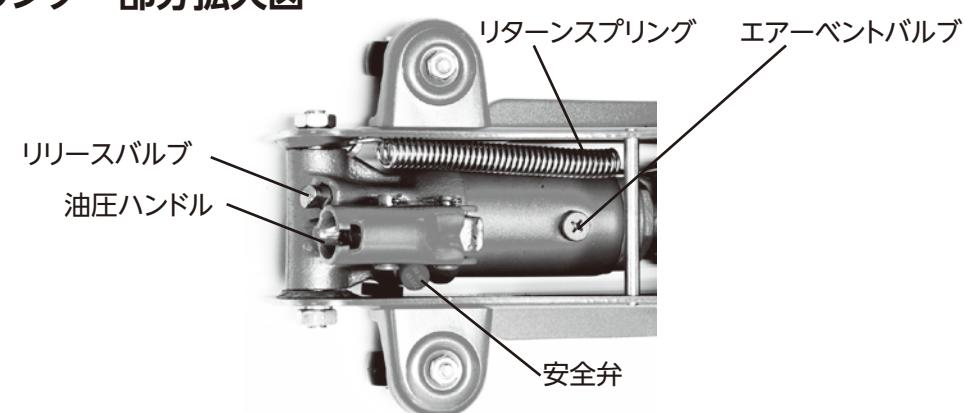
生産物賠償責任保険加入済

※改良のため、予告なく仕様及び外観の変更をする事があります。

## ■各部名称



## シリンダー部分拡大図



※安全弁は絶対に回さないで下さい。

工場での生産時、オーバー荷重を防ぐために調整されています。

## ■安全上のご注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用の前にこの「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分からなくなつた時など、必要な都度、お読み返し下さい。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく、安全にご使用頂くためのもので、本製品を使用する方や、周囲への危害や損害などを未然に防止するものです。

## ■使用上の注意と警告マーク ⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

## ■ご使用前の注意と警告 ⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



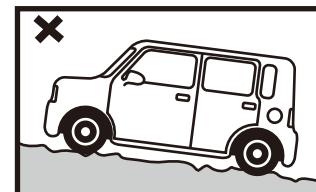
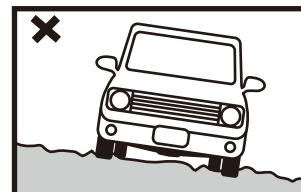
- 本製品は、自動車をジャッキアップするためにご使用頂くもので、ジャッキアップ状態を維持するためのものではありません。
- 本来の目的以外で使用しないで下さい。また、緊急時に速やかにご使用頂けるように、本書に従って事前にご確認のうえ使用して下さい。
- 投げる・落とす・叩くなどの衝撃を与えないで下さい。
- 本製品の分解や改造をしないで下さい。
- 本製品は、気温-20°C~60°Cの範囲内でご使用下さい。
- 本製品は14.7kN(1.5tの質量)以内でご使用下さい。使用限度荷重を超えて使用すると、ジャッキの破損やアームが下降する恐れがあります。
- ご使用の前に、必ず各車両指定のジャッキアップポイントをご確認下さい。分からぬ場合は、自動車の販売店やガソリンスタンドなどでご確認下さい。
- 本製品に標準装備の支持台はジャッキアップの際、サイド掛けにはご使用頂けません。サイドで使用する場合は付属のサイド掛けアダプターをご使用下さい。
- お車から人や物を降ろしてからご使用下さい。
- 作業の前に、車両の周囲に人や、他の車両、物などが無いことを確認して下さい。
- ご使用の前に無負荷の状態でジャッキアップをし本製品に異常がないか確認して下さい。作動油の漏れ、アームの曲がり、著しいガタ付き、異音などの異常がある場合は使用を中止し、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。



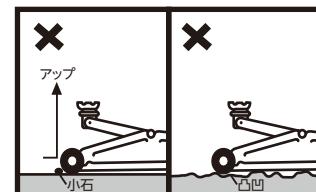
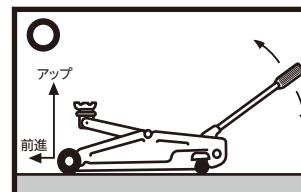
- 必ずお車の車高をご確認下さい。また、バンパーの形状によっては干渉する恐れがあるのでご注意下さい。
- 安全弁は絶対に回さないで下さい。工場での生産時に、オーバー荷重を防ぐために調整されています。
- ジャッキのハンドルやアダプターは、必ず付属のものをご使用下さい。本製品以外のものはご使用にならないで下さい。

## ■ご使用方法と使用上の注意 ⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- 本製品は、水平で堅い地面または堅い板を敷いた上で使用して下さい。柔らかい地面や傾斜した場所では設置面を傷つけたりジャッキが傾き車両が落下する可能性があります。



- 強度不足の場所でジャッキアップをしないで下さい。
- ジャッキがお車から外れたり、破損する恐れがあるので2つ以上のジャッキを同時に掛けないで下さい。
- ジャッキアップするに従い、ジャッキ本体が移動するため、設置面に小石や凹凸などの障害になるものが無い事を必ず確認して下さい。



- 意図せぬお車の移動により、ジャッキがお車から外れたり、破損することを防止するため、必ずエンジンを切り、パーキングブレーキをかけたうえでギアを「ロー」に(AT車は「P」)に入れて下さい。また、お車が動かないよう、車輪止めをして下さい。
- ジャッキとお車の動く方向が異なると、ジャッキがお車から外れたり破損する恐れがあります。お車のタイヤを正面にまっすぐ向け、ジャッキはお車に対して斜めに入れないようにして下さい。
- ジャッキアップする際、必ずジャッキの支持台の中心にジャッキポイントをあわせて下さい。また、作業中にズレる可能性があります。安全のため、時々ご確認下さい。
- 必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)をご使用下さい。
- リリースバルブが確実に締まっていることをご確認下さい。
- ジャッキアップ中に、車両の下に頭を入れたり、体ごと入っての作業はおやめ下さい。
- ジャッキのハンドルは、上げる時、又は下ろす時以外は外して下さい。
- ジャッキアップしたままの状態で、車両から離れないで下さい。
- ジャッキダウンの際は、車両の下に人や物などが無いこと、また、作業する人や他の人の体が車両に当らないよう、充分注意をして下さい。
- ジャッキを下ろす際には、必ず、本製品付属のハンドルで、リリースバルブをゆっくりと反時計回りに回して下さい。



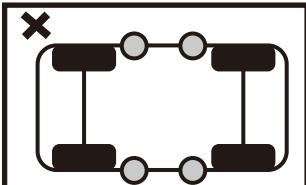
- ジャッキアップの際は、ハンドルが確実に接続されていることをご確認下さい。
- 手が滑らぬようしっかりとハンドルを握って操作して下さい。
- ジャッキを下ろす際には、ジャッキのハンドル以外の場所に触れないで下さい。



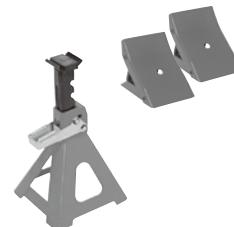
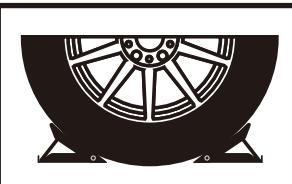
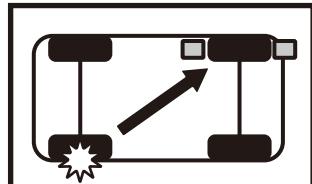
- 安全弁は絶対に回さないで下さい。
- リリースバルブを3回転以上回しますとオイル漏れや故障の原因となります。緩めすぎに注意して下さい。

## ＜ジャッキアップの前に＞

- 本製品に標準装備の支持台はジャッキアップの際、サイド掛けにはご使用頂けません。サイドで使用する場合は付属のサイド掛けアダプターをご使用下さい。  
※サイド掛け専用アダプター【本書5頁を参照】



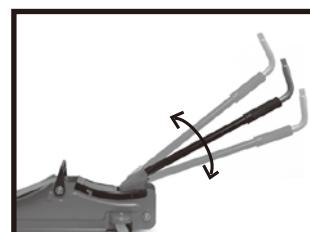
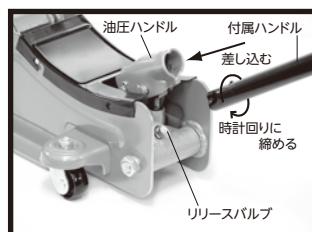
- 輪止めを、ジャッキアップする反対(対角)側のタイヤに掛けて下さい。(前後に2個)



- 本製品は、ジャッキアップするためにご使用頂くもので、ジャッキアップ状態を維持するためのものではありません。ジャッキスタンド(馬)を必ずご使用下さい。

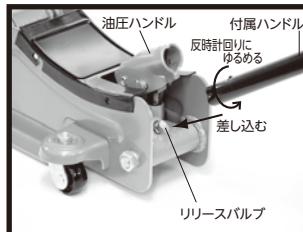
## ＜ジャッキアップ＞

- ①ハンドルをリリースバルブに差込み、時計回りに回してリリースバルブを確実に締めて下さい。締め付けが不十分な場合、ジャッキアップできない場合があります。
- ②ハンドルを油圧ハンドルに差込み、上下に動かしますと、アーム部分が上がります。支持台がジャッキポイント近くまで上昇したら、一時中断し、支持台の中心をジャッキポイントにあわせて下さい。
- ③支持台の中心にジャッキポイントがかかる事を確認した後、再度ジャッキアップを続けて下さい。支持台が上がり、車両が上昇します。



## ＜ジャッキダウン＞

- ①ハンドルをリリースバルブに差込み、ゆっくりと反時計回りに回してリリースバルブを回して下さい。車両が下降します。
- ②錆や劣化を防止するため、収納・保管の際は、支持台を一番下まで下げ、ハンドルをでリリースバルブを時計回りにしっかりと締め、雨や雪の当たる場所や湿気の多い場所を避けて保管して下さい。



## ■ご使用後の注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



注意

- ご使用後は、支持台を一番低い位置に下げ、リリースバルブをしっかりと締めて下さい。油圧ピストンがシリンダー内に収納され、サビやキズからジャッキを守ります。
- 保管の際は、雨や雪の当たる場所や湿気の多い場所は避けて下さい。
- 移動や保管の際は、必ず本体の車輪を設置面にして下さい。縦置きや横置きの状態にしますと、オイル漏れや故障の原因となります。
- ジャッキのホイールなどの可動部分の動きが悪いと、ジャッキが破損する恐れがあります。時々、潤滑油を差して下さい。

## ■サイド掛け専用アダプター

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

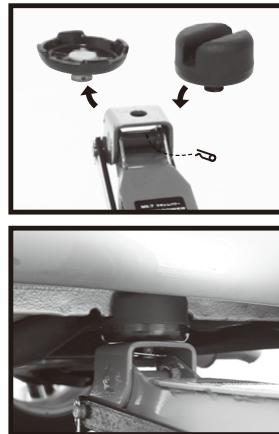


警告

- 本製品はエマーソンローダウンジャッキ専用タイプです。他のジャッキに使用しないで下さい。
- 本製品は、本来の目的以外には使用しないで下さい。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないで下さい。
- 本製品に破損や変形などの異常が見られる場合は製品の使用を中止し販売店又は下記記載の製造者へご連絡下さい。
- お車の取扱説明書及び純正ジャッキの形状をご確認下さい。
- 純正のジャッキがグリップに当てるタイプの場合は使用しないで下さい。グリップをまたぐタイプの場合のみ使用出来ます。
- デフ部や凸形状のジャッキポイントには使用しないで下さい。このタイプの場合は標準の支持台をご使用下さい。
- エアロパーツ等によりジャッキポイントが合わない場合は、使用しないで下さい。
- 必ず、止めピンで固定して下さい。

## <取付方法>

- ① ジャッキのリリースバルブを締め、止めピンが見えるまで支持台を上げて下さい。
- ② 支持台(標準装備)とジャッキを固定している止めピンを先の細いラジオペンチなどで外して下さい。
- ③ 支持台(標準装備)を取外して下さい。
- ④ 専用アダプターをセットして下さい。
- ⑤ 必ず、止めピンで固定して下さい。
- ⑥ 専用アダプターの溝をジャッキポイントに合わせてジャッキアップして下さい。



## ■ソケットレンチ付ハンドル

△ご使用になる前に必ずお読み下さい。



- 本製品はジャッキハンドルとしてご使用になる場合は、エマーソンローダウンジャッキ専用タイプです。他のジャッキに使用しないで下さい。
- 本製品は、本来の目的以外には使用しないで下さい。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないで下さい。
- 本製品は手動工具です。必ず手作業で使用して下さい。
- ソケットが確実に装着されている事を確認してからご使用下さい。
- サイズが合わないホイールナットや、半掛けりの状態で使用しますと、ボルト・ナットの破損につながり、大変危険です。ご注意下さい。
- レンチにパイプなど継ぎ足して使用しないでください。レンチやホイルの破損につながる恐れがあり、大変危険です。
- 本製品に乗る、蹴る、叩く、落とす等の行為をしないでください。破損する恐れがあり、大変危険です。
- 本製品のソケットレンチで締め付ける場合は、締めすぎにご注意下さい。  
※通常、12mmのボルトの場合、締め付けトルクは約103Nmです。  
本製品の末端(約50cm)に20kgの重さを掛けた場合、約100Nmの締め付けトルクになります。
- 作業後は必ずトルクレンチ(別売)で適正トルクを確認して下さい。
- 本製品に破損や変形などの異常が見られる場合は製品の使用を中止し販売店又は下記記載の製造者へご連絡下さい。

## <取付方法>

- ① レンチヘッドにご使用になるサイズのソケットを取り付けて下さい。



## ■メンテナンス

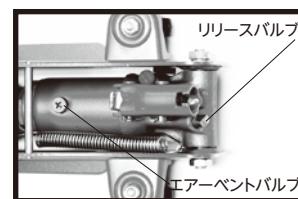
△ご使用になる前に必ずお読み下さい。



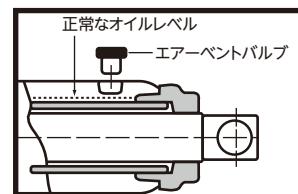
- リリースバルブを3回転以上回しますとオイル漏れや故障の原因となります。緩めすぎに注意して下さい。
- 作動油が少なくなった場合は指定の作動油を補充して下さい。(ブレーキオイル、アルコール、グリセリン、洗浄用モーターオイルなど、指定以外のものはご使用になれません。)
- 補充の際、ゴミや、ホコリなどの異物が入らないようにして下さい。
- 作動油は劣化します。3年毎に交換をして下さい。
- 作業を始める前に、必ず市販の廃油缶又は廃油箱・廃油剤等を使用して下さい。
- 作動油は石油系の物質です。補充や交換の際には通気性の良い場所で、引火しないよう火気から十分離れた場所で行って下さい。

## <オイルの補充>

- ① 支持台を一番下まで下げ、水平な地面の上でカバープレート、エアーベントバルブを外して下さい。



- ② 給油口から「エマーソン純正オイル」、または同等の油圧用オイルを少量づつ注入して下さい。



エアーベントバルブより10ミリ程度まで補充して下さい。



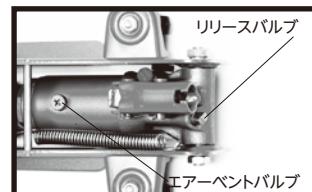
ジャッキ販売店、発売元へお問い合わせ下さい。

- ③ オイルの補充が終りましたら、エアーベントバルブを元の状態に戻して下さい。

- ④ オイルの補充後、エアー抜きを行って下さい。

## <オイルの交換>

- ①支持台を一番下まで下げ、水平な地面の上でカバープレート、エアーベントバルブを外して下さい。



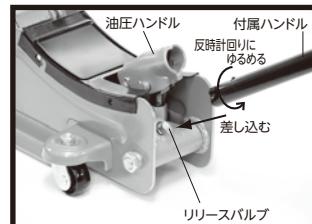
- ②ジャッキを逆さまにして給油口からオイルを容器に排出して下さい。このとき、シリンダーが水平になるようにして全てのオイルを出して下さい。



- ③<オイルの補充>の手順③～④に従って新しい油圧用オイルを注入して下さい。

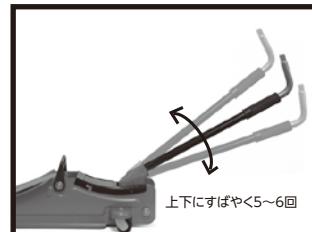
## <エアー抜き>

- ①水平な地面の上で支持台を一番下まで下げて下さい。  
②リリースバルブにハンドルを差込み、反時計回りに回して下さい。(2～3回転)



- ③エアーベントバルブを外して下さい。

- ④油圧ハンドルにハンドルを差込み、上下にすばやく動かして下さい。(5～6回)



- ⑤エアー抜きが終わりましたら、エアーベントバルブを元の状態に戻して下さい。

- ⑥保管する場合は、ハンドルでリリースバルブを時計回りにしっかりと締めて下さい。  
※正常に動作しない場合は2～3回同じ作業を繰り返して下さい。

## ■万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

## ■故障・異常の見分け方と処置方法

万一、不具合が発生した場合は、下記にもとづいて点検し、処置に困るような時や、原因のはっきりしない時、処置をしても正常に作動しない時は、お買い求めの販売店または、発売元にご連絡下さい。

状況	原因と対策
上がらない	1.リリースバルブがしっかりと締まっていない。 →リリースバルブを時計回りに回して、しっかりと締めて下さい。  2.オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。
自然に下がる	1.リリースバルブがしっかりと締まっていない。 →リリースバルブを時計回りに回して、しっかりと締めて下さい。  2.油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。
最高位まで上がらない	1.オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。  2.油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。
最低位まで下がらない	1.油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。  2.リターンスプリングがはずれているか、老化している。 →可動部分に注油するか、スプリングを交換する。
スムーズに上がらない	1.油圧系統にエアーやホコリが混入している。 →エアー抜きを行って下さい。